

---

# 第116回LC研究懇談会

---

日時:1997年2月27日(木) 10時~17時00分

会場:東京理科大学(10号館、1011階)

[東京都新宿区市谷田町3-21-6、電話:03-3260-7501、交通:JR総武線「飯田橋」駅下車 徒歩9分]

---

## 講演主題:LC/MS最新の技術 (TOF/MS、LC/MS、LC/MSnとその応用)

### 講演

1. MSを検出器とするHPLCの現状と将来 (10:00~10:30)

(東京都立大学理学部)瀬田 和夫

2. TOF/MSの最新技法の紹介 (10:30~11:10)

(日本ブルッカー(株))荻沢 崇

3. Voyager DE-MALDI-TOF/MSとLCn-ESI-TOF/MSによる生体関連高分子の精密質量分析法 (11:10~11:50)

(日本パーセプティブ(株))福田 宏之

4. MALDI-TOF/MSで何ができるか (11:50~12:30)

(島津製作所東京カスタマーサポートセンター)川畑 慎一郎

昼食(12:30~13:30)

5. イオントラップ型LC/MSnシステムを用いたタンパク質、ペプチドの分析 (13:30~14:10)

(サーモクエスト(株))○金井 みち子、徐 紅、生澤 秀典

6. 新しいイオン化法“Sonic Spray”とその応用 (14:10~14:50)

(日立製作所 計測器事業部 中央研究所)○永井 伸治、平林 由紀子

7. HP1100シリーズLC/MSによるルーチン分析へのアプローチ (14:50~15:30)

(横河アナリティカルシステムズ(株))見瀬 光男

休憩(15:30~15:50)

8. 磁場型質量分析計を用いたAPCI/ESIによるLC/MSの応用 (15:50~16:30)

(日本電子(株))松浦 健二、高橋 豊、藤巻 奨、野嶋 一哲

9. PE-Sciex社の新型シングルステージLC/MSのご紹介 (16:30~17:10)

(宝酒造(株))澤田 順

## 10. 総括:分離分析におけるMSの可能性 (17:10~17:40)

(東京理科大薬学部)中村 洋

---

### 参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、分析化学会・共催学会会員:2,000円、その他:3,000円(当日受付にてお支払い下さい)、学生は無料。

共催学会等:日本化学会、日本食品衛生学会、日本薬学会

---

### カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

---

### 懇親会

講演終了後、講師を囲んで立食パーティー形式で開催いたします。会費:1,000円

---

### 申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します)。

### 申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-5487-2790、FAX:03-3490-3572]

---

[LC研究懇談会情報ページへ戻る。](#)